



# STRUM

シュトルム

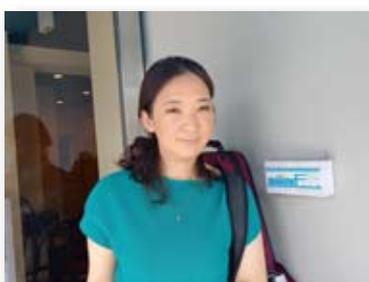
第52号

2021年7月1日発行

オリンピックが近づきながらも、まだまだ混迷は続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。伊都さんも演奏活動が制限される中、ラジオ番組は好調ですので、今号はその様子をお知らせします。例年なら Wiener Wind コンサートのご案内もできる頃ですが、今年も状況を見極め、できれば晩秋以降の開催時期を探っていきます。次号の紙面で晴れてご案内できることを望みつつ、今しばらくお待ちください。



## 近況報告



4月から始まったマリンFMの“Close To The Violin”、自身初のラジオ番組パーソナリティー、30分の中で2、3曲弾きつつ、話をするという、しゃべって、弾いてはライブコンサートなどでやっているから大丈夫！と思っていたのですが、狭いスタジオの中で、マイクに向かって、エンジニアにあと何分と合図されながら、台本とアシスタントの様子を見つつ、演奏し、しゃべるのは考えていたより神経を使う作業で、最初のうちはかなり緊張してしまい、自分でも何をしゃべったか覚えていないのですが、少しずつ慣れてきて、台本通りに進まなくても気にしない、なるべくゆっくり、しっかりはっきり体を揺らさずマイクに近づいてしゃべる、サウンドも曲によって収録方法を変えてもらう、など気が向くようになりました。まだまだ、時々話のオチがつかなくなったり、発音がしっかりしていなかったり、改良しなくてはならない点いっぱいですが、楽しそうに弾いていて、聴いていて楽しいと言ってもらえるのを励みに、そうだ、私は弾くのが楽しいんだと原点に戻ったような、演奏する楽しさを感じています。

弾くのが好き、という私が今も演奏家として活動し続けているコアな部分が培われた、スズキメソッドの教室の発表会が先日2年ぶりに県立音楽堂で行われ、私も卒業生としてバッハのシャコンヌを弾かせてもらいました。大きな舞台の真ん中に足を広げて立ち、弦からはじき出される音が客席の奥まで流れ、飛んでいく嬉しさを久しぶりに味わい、そして小さい生徒たちが、真剣に、一生懸命弾いている様子に、音楽っていいな、ヴァイオリン演奏っていいなと胸が熱くなりました。

まだまだ予断を許さない状況下ですが、300年近く弾き継がれるヴァイオリンの音色が私は大好きなこと、その音色を届けられたら嬉しいなというピュアな望みをベースに、活動していけたらと思っています。 【伊都】

## 加納伊都の Close To The Violin

毎週火曜日、お昼の12時30分から13時、伊都さんがパーソナリティーを務めるマリンFMの番組が始まって早くも3カ月が経ちました。アシスタントの平野くらげさんとの息もだんだん合って、毎週楽しみに聴かせてもらっています。番組は、最初に伊都さんの時節に合った長めのトークから始まり、生演奏、曲や国にまつわる平野さんとのトーク、また生演奏が入り、そして「伊都の toitoitoei 散歩」という、ヴァイオリンの話やリスナーさんからののお便り紹介の時間もあります。toitoitoei はドイツ語で「頑張ってる！」という意味。毎週、ヨーロッパの各国の音楽や、その国を訪れた時の面白い話など、長い海外生活ならではの話を聞くことができます。そして何とんでも生演奏がセールスポイント！ コンサートでトークと生演奏の場数を踏んできた伊都さんだからこそ！の番組になっていますので、まだ聴いていない方は、スマホに「Risten Radio」の無料アプリをダウンロードして、ぜひお聴きください。



## いとちゃんのクラシック講座

op.30



6月22日より、ラジオ番組内で使われる、ジングルと呼ばれる途中で時刻をお知らせするアナウンスの前に流れるサウンドに、私の録音のヴァイオリンバージョンが使われるようになりました。番組のプロデューサーが作曲家ということで実現し、彼がこんなメロディーどう？とピアノで提案するフレーズにヴァイオリンでこんな風にアレンジできるかな・・・とデモを行いながら作ったのですが、普通にただフレーズを弾くだけなら何も問題がないのですが、これを録音するとなると、どこから始めてどこで終わるか、つまり拍子をどこに持ってくるかというのが必要になってきます。

クラシックの分野では作曲家が楽譜を書き、それを忠実に再現するのが演奏家の使命、楽譜が命といわれていて、たとえばジャズなどで使われるコードやフレーズからインプロ、つまり即興をするというのはちょっと別次元の話となります。楽譜がないと弾けないのがクラシック演奏者と言われるゆえんですが、つまりしっかり弾くには楽譜と拍子とリズムがわからないと困ってしまう・・・という習性があります。私は楽譜のないジブシーやアイリッシュ音楽で鍛えられて、その場でパフォーマンスをする分には拍や正確なリズムがわからなくても大丈夫なのですが、いざ録音となると、このフレーズの楽譜はどうなっているんだ？と考えてしまい、逆に弾けなくなってしまうということに今回気づき、楽譜の存在は大きいなと感じています。

【伊都】

## ラジオ公開生放送のお知らせ！ 加納伊都のClose To The Violin



7月20日(火) 12:30~13:00

マリンFMハンマーヘッドサテライトスタジオ

見に来てね！



## DVD Classic Collection

作品 No.44

「ストーリー・オブ・マイライフ  
～わたしの若草物語～」

2019年アメリカ



## あらすじ

1800年代のアメリカ、マサチューセッツ州、マーチ家は父親が従軍牧師として南北戦争に出征し、母と四姉妹で暮らしていた。控え目で幸せな結婚を望む長女メグ、勝気で作家志望の次女ジョー、病弱だがピアノが上手な三女ベス、現実的で画家志望のエイミー、それぞれ個性豊かな姉妹の中でもジョーは信念を曲げない強さがあり、女性でも立派に自立することを夢見て執筆に励んでいた。

## 見どころ

これまで何度も映画化されてきた古典を、若手女性監督が現代の女性にも通じる物語として、作者オルコットが伝えたかったことを表現した映画。結婚だけが女性の幸せなんて絶対おかしい！と言い切るジョーを始め、女性が生き生きとテンポ良く描かれている。また映像がとても美しく、どのシーンを切り取っても絵になる。ショパン、シューベルト、ブラームスなど、BGMも楽しめる。

## 感想

エマ・ワトソン、メリル・ストリープ…実力派の俳優陣がキャストで、主演のジョーを演じる女優さんの青い瞳が魅力的。全米で興行収益を上げ、アカデミー賞の作品賞や多くの部門にノミネートされ、衣装デザイン賞を受賞した。伊都さんも好きな「コスチュームもの」の世界を楽しめる。日本で言えば、セットや俳優にお金をかけ、若手の監督が手掛ける時代劇…大河ドラマの感覚なのかもしれない。

\*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

編集後記 長いトンネルの先に、ワクチン接種でようやく希望の光が見えたのに、また強敵デルタ株が行く手を阻む…う～ん、冒険ファンタジーだと試練の先には勝利と幸せが待っているはず…現実も勿論、勝利は見えているのですが、辿り着くまでには幾多の犠牲と試練が課せられています。／昔「戦争を知らない子供たち」という歌を歌ったけれど、どの時代に生まれても災禍はあるもの…と改めて歴史の道を歩いていることを感じます。／さて、7月20日火曜日は伊都さんの番組初めての公開生放送となります！「あっ、それラジオでよく聞くヤツ！」です。横浜の新名所ハンマーヘッドは馬車道駅徒歩10分、桜木町から話題のロープウェイに乗ってもすぐの立地に、客船ターミナル、ホテル、商業施設があり、その2階にマリンFMのサテライトスタジオがあります。平日ですので、密は避けられるでしょう。伊都さんの応援に駆けつけませんか？ <ゆ>

発行：加納伊都後援会 TRAU BEN

〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台 15

TEL：045-622-6780

FAX：045-621-6423

Email：trauben@itokanoh.com

Homepage：itokanoh.com